

第17回「てくてく歩こう会」柳生一族の史跡探訪

[OB会同好会]
平成22年9月27日



昼食後の南明寺境内にて

柳生街道(剣豪の里)コース
忍辱山バス停～円成寺～夜支布山口神社
～南明寺～お藤の井戸～疱瘡地蔵～
天乃石立神社～柳生霊園～芳徳寺～陣屋跡
～家老屋敷～柳生バス停まで約9キロ

南明寺

本堂は鎌倉時代に建てられた一重寄棟造りで、力強く簡潔な様式を残しています。本堂には木造の釈迦如来(平安後期)、薬師如来(平安初期)、阿弥陀如来(平安後期)の座像三体を安置していますが、造像の手法はそれぞれ異なっています。

寺の創立年代は不明ですが、周囲に多くの堂塔のある大寺であったようです。



この牛岩の上で誕生したので”牛若丸”と命名された



頼朝問答で有名なお藤の井戸で、カマキリで遊ぶイタズラ坊主？



山深いのどかな柳生の里



芳徳寺

家老小山田主鈴の旧邸



一刀石の他、きんちゃく岩など謎の巨石群がご神体

